

き り ん G 槻 輪 だ よ り

会 報 第 45 号
発行日 平成 20 年 6 月 30 日
発行・編集 V・G 槻 輪
代 表 者 大 岡 成 一
<http://web3.ibj.co.jp/kirin>

わがまち紹介

“水との関わり深さを偲ぶ・水路のまち”

東五百住 津之江町

五百住・津之江は、「日本書紀」に既に出てくる女瀬川流域で良田の村落でした。

五百住神社

(春日・八坂神社)

神体が春日、八坂の二対あるため双方の神社名で呼ばれる。
境内は榎木をはじめ木々で覆われ、鳥の囀り声が絶えない。



市に鳥の種が確認されているが大槓の鳥がこの

神社を棲みかにしているのではと思つて。

秋から初冬に敷地一帯は団栗等の木の実で敷き詰められる。

学問の神、武勇の神を祀るこの神社は、創建は不詳なれども、日本書紀の安閑天皇御宇に当村名が現われる。当時より村民の氏神として厚く崇敬されたと思われる由緒ある神社。

かがいじょうけんじ
利井常見寺
浄土真宗本願寺派



歴史は古く、前後に清和源氏、利井七郎隆房が浄空法師として利井坊を建立したのが始まり。

1599年に本願寺十一世顯如の薦めもあり現在の利井常見寺になる。女瀬川に沿つて是(に)よせ(町)の命名は三代前の住職によるもの。

常見寺の常見とはこの世は永遠に続くもので不滅であるとする見解のこ



と、反対語は断見(だんけん)。つまり釈迦が

在世の頃にあつた六十二見のうちの二つで、この世界・世間が永遠に存続すると主張したもの

である。「見」とは見解・意見・見方のこと、あるいは邪見や執見との否定的な意味も含む。

人の一生・人生はこの世の一回限りであるが、死後もこの世界において固定の実体が不滅で永続するものであると肯定する見解をいつ

行信教校
境内に学校を併設するお寺は珍しいらしい。利井常見寺の住職(第19世)等が明治15年に創立。3年制が行信教校で1年制の行信仏教院がある。現在18名が修業されている。卒業生は約300人におよび

行信仏教院

境内に学校を併設するお寺は珍しいらしい。

利井常見寺の住職(第19世)等が明治15年に創立。3年制が行信教校で1年制の行信仏教院がある。現在18名が修業されている。卒業生は約300人におよび

井路が続くのですがここから芝生町三丁目境までは平成に入り水路

が地下化された。

新川桜堤

芥川の城西橋から芥川大橋の間の新川桜堤では、地元の人がサクサクと植えたものが立ち育ち、40年程度の桜の並木が続きます。



芥川の左岸に沿って流れる新川は、元々農業用水として利用されていきました。

津之江水路

津之江地区は堤防よりかなり低いので、農業・治水目的の井路(いじ)が発達しています。

芥川支流の女瀬川堤防から北(上流)方向の津之江水路、大昔は農地だったのかも知れませんが今は完全に住宅地の中を縫つ井路です。

北方こちらには南(下流)方向の向女瀬川の井路が続くのですがここから芝生町三丁目境までは平成に入り水路



井路が続くのですがここから芝生町三丁目境までは平成に入り水路

井路が続くのですがここから芝生町三丁目境までは平成に入り水路

庄所ミニミニセンター

平成20年4月10日オープン。

地元組織が管理・運営し地域に根ざした事業展開をされる。地元と組織された管理運営委員会が運営されています。

S・O

7月度行事予定

“二料山荘で田舎ランチ・二料地区”

月 日: 平成20年7月17日(木) 10:25集合
集 合 場 所: JR 高槻駅北 西武デパート前 近畿大阪銀行前
順 路: 二料山荘手配のバスにて→二料山荘へ→二料山荘で田舎ランチ→二料の集落見学→二料山荘手配で高槻駅へ
そ の 他: 交通費 高槻駅~二料山荘 800円/人
昼食 約1000円から。一般参加者歓迎

8月度行事予定

“大阪医大歴史資料館・子育て活動支援センター 大学・北園町”

月 日: 平成20年8月21日(木) 13:00集合
集 合 場 所: 阪急高槻市駅 改札出口
順 路: 阪急高槻市駅→大阪医大歴史資料館
→子育て支援センター→JR 高槻駅へ
そ の 他: 一般参加者歓迎・名札携帯する事